

Kazuo Tachibana Memorial

ラルカータ室内合奏団

第32回演奏会

冬桜 コンサート

Winter Cherry Concert

2019. **12/1** (日)

14:00開演 (13:30開場)

とうほう・みんなの文化センター
大ホール

Tel.024-534-9191

全席自由 2,500円



特別出演 ヴァイオリン

篠崎 史紀

特別出演 チェロ

篠崎 由紀



ピアノ/オルガン

立花 眞理

箏

立花 かおり

芙蓉 会

Program

- ・バッハ 羊は安らかに草を食み BWV208
- ・バッハ 二つのヴァイオリンのための協奏曲 ニ短調 BWV1043
- ・ヴィヴァルディ ヴァイオリンとチェロのための協奏曲 変ロ長調 RV547
- ・長澤勝俊 箏四重奏曲
- ・メンデルスゾーン ピアノ三重奏曲 第2番 ハ短調 Op.66より
- ・グリーク 組曲“ホルベアの時代から” Op.40

12/1冬桜コンサートに向け
共に練習し篠崎氏と一緒に
演奏したい弦楽器奏者募集

中学生以上年齢不問
《お申し込み/お問い合わせ》
Tel.090-9036-2695

larcatahappymember@docomo.ne.jp



◆ チケット取り扱い ◆

ラルカータ室内合奏団 Tel.090-9036-2695

とうほう・みんなの文化センター Tel.024-534-9191

ふくしん夢の音楽堂 Tel.024-531-6221

福島テルサ Tel.024-521-1500

歌舞伎家楽器店 Tel.024-534-0052

中合福島店 Tel.024-521-5151

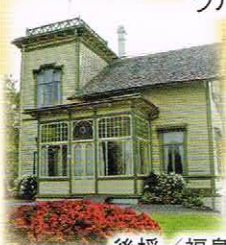
◆ お問い合わせ ◆

ラルカータ室内合奏団事務局 Tel.090-9036-2695 larcatahappymember@docomo.ne.jp

主催/ラルカータ室内合奏団

後援/福島県教育委員会 福島市 福島市教育委員会 福島民報社 福島民友新聞社 福島テレビ 協賛/立花会

公益財団法人福島県文化振興財団助成事業



篠崎“まる”史紀 Fuminori Maro SHINOZAKI



愛称“まる”。NHK交響楽団第1コンサートマスター。北九州市小倉出身。

1963年、両親共にプロの幼児教育者の家に生まれ、3歳より父、篠崎永育にヴァイオリンの手ほどきを受ける。15歳の時に毎日学生音楽コンクール全国第1位。北九州市民文化賞を史上最年少で受賞。16歳で単身3ヶ月のザルツブルグ夏期講習に参加。高校まで地元で過ごし卒業と同時に8年間に及ぶウィーン留学へ。師トーマス・クリスティアン入門を叩き、ウィーン市立音楽院に入学。翌年コンツェルト・ハウスでコンサート・デビューを飾り、その後ヨーロッパの主要なコンクールで数々の受賞を果たす。88年帰国後、群馬交響楽団、読売日本交響楽団のコンサートマスターを経て、97年、34歳でNHK交響楽団のコンサートマスターに就任。以来“N響の顔”として、ソリスト、室内楽奏者、指導者として国内外で活躍中。96年より東京ジュニアオーケストラソサエティの音楽監督、WHO国際医学アカデミー・ライフハーモニーサイエンス評議会委員を務め、そのコンサートにも熱心に取り組んでいる。2004年より銀座王子ホールにて“MAROワールド”を開催。著書に、篠崎史紀ヴァイオリン選曲集「MARO's Palette」、エッセイ「ルフトパウゼ ウィーンの風に吹かれて」、篠崎史紀のヴァイオリン上達法「パンドラの箱」、「絶対!うまくなるヴァイオリン100のコツ」がある。現在、音楽の友に誌上名曲喫茶「まる亭」一亭主のメモ帳から連載中。桐朋学園大学及び東京芸術大学非常勤講師、昭和音楽大学客員教授。01年福岡県文化賞受賞。08年北九州文化大使に就任。

14年、N響入団以来コンサートマスターとしての長年にわたる貢献に対し、第34回有馬賞を受賞した。

完璧なテクニックとその美しい音色は他の追随を許さない。

篠崎 由紀 Yuhki Shinozaki

音楽教育の専門家である両親の指導のもと5才よりチェロをはじめる。桐朋女子高等学校音楽科、及び桐朋学園大学音楽学部を卒業。ウィーン市立音楽院を経て、ドイツ国立トロッシゲン音楽大学を卒業。在学中より、ヨーロッパ各地でリサイタルやオーケストラとの共演等を行い注目を浴びる。また、フライブルグ音楽祭、コンスタンツ音楽祭、フライブルグコンツェルトハウス開館1周年祭の他、多数の音楽祭に招待される。その演奏は「美しく響くその音色と深い音楽に会場は包まれ、聴衆は圧倒的に魅了された…」(ドイツ・パーディッシュ紙)と絶賛された。帰国後客演首席奏者として、札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティフィルハーモニック管弦楽団、静岡交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、兵庫 PAC オーケストラ他、日本各地のオーケストラから招聘されるほか、年間数百曲のレコーディング、アーティストのツアーサポートに参加している。また、ジュニアオーケストラやアマチュアオーケストラのトレーナー、ピアニストの為に室内楽クラスなどアンサンブルを通じた音楽教育にも力を入れている。SHINOZAKI MUSIC ACADEMY 代表

ラルカータ室内合奏団



主宰
立花 眞理

ラルカータ室内合奏団は昭和63年(1988年)に立花和夫により創立されて以来、クラシックあるいはバロック時代の室内楽や合奏曲の研究と練習そして演奏活動を続けている。設立の翌年第1回演奏会を行って以来、毎年定期的に演奏会を開催している。ラルカータ室内合奏団の団員は、ラルカータ室内楽セミナーの会員とその出身者が中心となって構成され、当初からの団員をはじめ長年の継続団員が多い。団員は趣味と教養として演奏法や指導法の研究を目標として毎月定例の練習会に参加している。また眞白の会(主宰 立花眞理 ピアノ演奏法・指導法研究会)と合同でピアノコンチェルト研究会を毎年行う他、社会教育機関や団体の開催するコンサートでの演奏も行っている。

2007年第20回記念オータムコンサートを一区切りとし、08年立花和夫音楽教育60年記念演奏会(第21回)を機に更なる歩みをAdvance1.オータムコンサートと数え、13年第26回Advance6.オータムコンサートまで回を重ねた。

篠崎史紀氏のヴァイオリンと立花和夫指揮による演奏会は2006、08、10年に開催された。

2014年チェコのシュターミッツ四重奏団を招聘し指導を受け、16年「立花眞理&シュターミッツ四重奏団IV」、19年「同V」で同団と共演。

2014年より「立花和夫記念」として第27回オータムコンサート、15年第28回クリスマスコンサート、16年第29回、17年第30回オータムコンサート、18年第31回冬桜コンサートを、また2015年一福島の今と未来へ&子供たちへコンサートを、いずれも篠崎史紀氏をゲストに迎え開催。

随時団員募集中 ラルカータ室内合奏団 〒960-8115 福島市山下町1-11 事務局Tel.090-9036-2695

立花 眞理 Mari Tachibana

ラルカータ室内合奏団/眞白の会主宰。武蔵野音大ピアノ専攻卒。NHK 洋楽オーディション合格。ピアノを馬場那岐子、本荘玲子氏の各氏に師事。モスクワにてセルゲイ・ドレンスキー教授他、欧米各地で著名なピアニスト、指揮者の指導を受ける。1999年より2019年ブラハにてピアノ、室内楽、指導法の各マスタークラスで研鑽を積む。東京、福島でピアノリサイタル及び立花眞理&シュターミッツ四重奏団それはブラハから…I~Vなどの室内楽演奏会を連続開催。

立花 かおり Kaori Tachibana

幼少の頃より母立花美沙子に箏の手ほどきを受ける。立教大学文学部卒業後、NHK 邦楽技能者育成会第27期入会、卒業。1983年「現代邦楽作品による箏と二十絃箏リサイタル」以来、「芙蓉会箏曲演奏会」「立花かおり箏リサイタル」等、多数の演奏会を開催。2015年「芙蓉会75周年記念演奏会」開催。現在、学校での邦楽指導や洋楽器・他邦楽器との演奏活動、洋楽作品の編曲、創作活動を行う。

生田流箏曲宮城社大師範、日本三曲協会会員、福島県三曲連盟理事、芙蓉会会主。

芙蓉会箏合奏団

- ◎立花 かおり 佐藤 礼子
- 長尾 千秋 井上 美智子
- 西村 伴子 本間 由香
- 高橋 眞理 三浦 悠貴
- 山本 昌利



ラルカータ室内合奏団

- Violin 江藤 泰彦 馬場 和美 山下 はる奈 菅野 有紀子
- 山田 絵里佳 伊藤 ちはる 江川 ひかり 佐々木 梨花
- 淵野 日奈子
- Viola 武田 江美子 佐藤 千佳子 榎本 知香 吉田 和久
- Cello 飯塚 尚峯 江川 由美子 多勢 ひかる 榎本 一輝
- Contrabass 田中 成和
- Piano/Cembalo/Organ 立花 眞理
- Staff 榎本 有美 佐藤 美和子 鈴木 桂子

